

# 3 【国道36号拡幅整備】

国道36号 白老拡幅（白老町区間）事業 【北海道開発局】

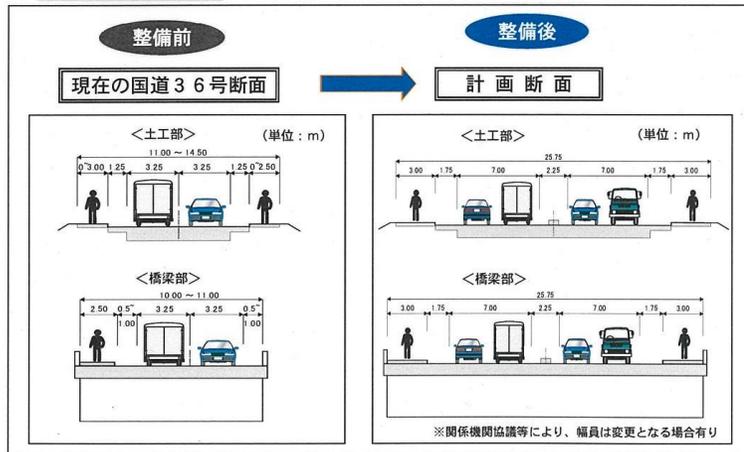


### 計画概要

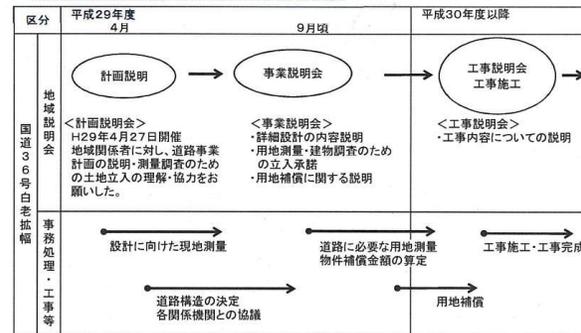
- 起点:苫小牧市樽前  
終点:白老町宇社台
- 延長:4.8km
- 道路区分  
第3種 第1級 4車線
- 道路幅員  
車道:3.5m×4車線  
路肩:1.75m×2  
中央帯:2.25m  
歩道:3.0m×2

※関係機関協議等により、幅員が変更となる場合があります。

### ～標準横断面図～



### ～事業予定スケジュール～



※工事完了:2020年の民族共生象徴空間の開設を目標としている。

# 5

## 【ポロト地区温泉施設整備】



宿泊棟



日帰り入浴施設

### 森の空気に包まれるポロト湖畔の温泉宿

計画地は、ポロトの森の入り口に位置します。古よりアイヌの人々の文化を育み現在もお広大な樹林を抱くポロトの森と、人々が暮らすまちを行き来する要となる場所です。豊かな生活を支えてくれる森を敬い大切に見守りながら、凜として穏やかに暮らす宿を目指します。

### コンセプトを実現するための景観設計

- ポロトの森に繋がるように計画された厚みのある林を各施設が囲む計画とします。**  
 宿のゲートをくぐった瞬間、森の世界にいきないます。温泉では樹々の梢で跳ねるリスの視点で風にそよぐ枝葉の揺れを、食事処では林床を走り回るキツネの視点で樹幹のたくましさを感じます。
- 宿泊棟は、ポロト湖の景観との親和性を重視しながら湖の景色を堪能できるようデザインします。**  
 森や空を映しとり、色とりどりに姿を変える美しいポロト湖とその背後にそびえる樽前山の景観を存分に味わえる建物配置と内部計画とします。また湖岸の景観のシークエンスに馴染むようファサードには樹幹をイメージする縦ラインを採用し、さらに森の四季色を取り込んだ色彩計画を行います。
- 象徴空間の計画に込められた思いを尊重し、国立民族共生公園との繋がりを積極的に創出します。**  
 地域の人々や公園の来訪者が利用しやすい開かれた賑わいのある日帰り入浴施設を計画します。公園との連続的な利用を可能とし、象徴空間とのつながりを大事にします。

### ホテルブランド：「星野リゾート界」



王道なのに、あたらしい。

地域の魅力を再発見できる、心地よい和にこだわった上質な温泉旅館

- 現代に合ったくつろぎ**  
 趣を大切にしながらも、洗練された心地よさを提供できるように、伝統的でありながらも、自由におくつろぎいただける創意工夫を行います。
- 地域の個性**

#### 【ご当地案】

「ご当地案（ごとうちがく）」として、個性的な伝統工芸や芸能など、アイヌ文化を楽しんで頂ける特別なサービスをご用意します。当地部屋」をご用意します。

#### 【ご当地部屋】

アイヌ伝統工芸作家の方々のコラボレーション等を通して、アイヌらしさと居心地の良さを追求した「ご当地部屋」をご用意します。

### ポロトの森を敷地内まで広げ、国立民族共生公園と繋ぐゾーン計画

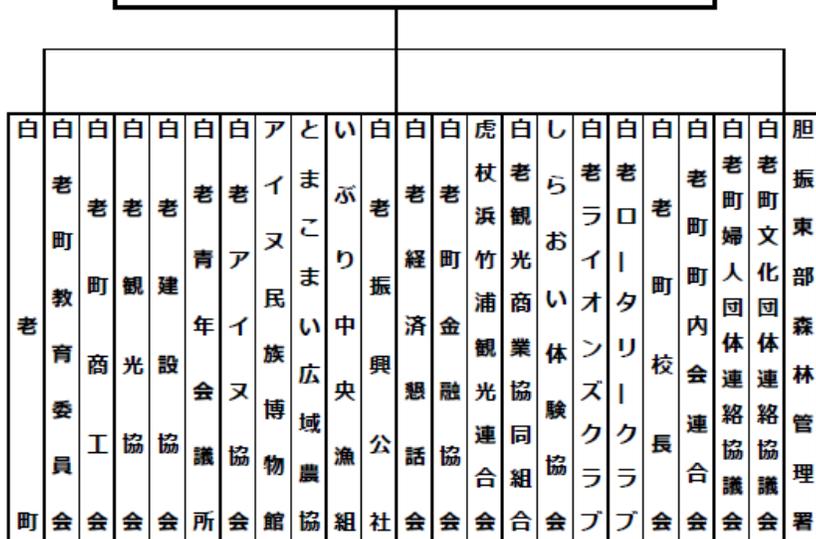
・宿泊施設のエリアは「静かな森ゾーン」として樹々に囲まれ森と湖の自然を感じられる静かで落ち着いた空間とします。  
 ・公園と連続した日帰り入浴施設のエリアは「賑わいゾーン」として、多くの人々が集い楽しむ活気溢れる空間とします。

#### 施設規模

室数	45室
敷地面積	約9,200㎡
建築面積 (建ぺい率)	2,840.00㎡ (30.86%)
延床面積 (容積率)	5,251.00㎡ (57.07%)

# 6 【白老町活性化推進会議】

## 白老町活性化推進会議



**組織** = 町内の事業者など24団体で構成

**目的** = 白老町内における象徴空間整備の効果を最大限に高めるため、町内事業者が連携して取り組みを推進する。

**所掌事項** = 活性化プランの策定・調査研究、象徴空間整備の効果を高めるための取り組みの推進、町内事業者の連携強化

**活動実績** = 国への要望活動（象徴空間へのアクセス改善など）  
民族共生象徴空間記念講演会の開催

「民族共生象徴空間」整備による白老町活性化推進プラン～概要版～

テーマ：「みんなの心つながる活力あふれる共生のまち」

『心』『活力』『共生』

### 活性化推進プラン1《情報推進分野》

◆誰もがいつでもどこでもアイヌ文化に触れられ学ぶ機会があり、情報の共有ができる環境づくりをめざす

- ・象徴空間の周知活動（道内・国内・海外）
- ・情報発信の強化（マスメディアの活用）
- ・情報発信ソールの作成（イメージデザイン、グッズ製作）
- ・象徴空間キャンペーンの展開（イランカラプテ、ルイカ等）

### 活性化推進プラン2《活性化推進分野》

◆象徴空間整備に伴う交流人口の増加で白老町産業活性化をめざす

- ・賑わいのある商店街づくり（魅力づくり、地場資源活用、創業支援、空き店舗対策、商業拠点施設設置等）
- ・世界に発信する観光地づくり（白老版DMO、町内周遊、インバウンド情報発信、多言語対応、バリアフリー環境等）
- ・交通アクセスの強化（広域交通、地域交通網）
- ・交流、体験活動の推進（体験事業、コンベンション、視察・研究）

### 活性化推進プラン3《基盤整備推進分野》

◆交流・定住人口増加に向けた利便性向上と快適空間の創造をめざす

- ・アイヌ文化を活かした景観と基盤整備の推進（自然・文化に配慮した景観形成、産業との調和）
- ・地域と交流を支える都市基盤の構築（土地利用、施設配置、周辺道路、JR駅の利便性向上）
- ・商業、観光施設整備の促進と地域ネットワークの形成（駐車場整備、温泉施設整備、観光拠点施設、町内回遊性の向上）

### 活性化推進プラン4《教育・学習推進分野》

◆象徴空間整備に伴う多文化共生の地域づくりをめざす

- ・アイヌ民族の歴史と文化の正しい認識と理解の普及（地域学講座の開催、アイヌ文化を学ぶふるさと学習、アイヌのつながりが生む文化振興・ルイカプロジェクト、イランカラプテキャンペーン）
- ・民族の尊厳を尊重し合える多文化共生社会の実現（多文化共生活動の推進、多文化共生人材育成、先進地との交流）

# 7 【機運醸成に対する取り組み】

○アイヌ刺繍によるストラップ



○PR用ポロシャツ



○役場庁舎への懸垂幕設置 (W100mm×H600mm)



○白老経済センター壁面への大型看板設置 (W9600mm×H3400mm×3枚)



○国道36号沿線への大型看板設置 (W5500mm×H2600mm)

